

# 令和4年10月臨時会 建設経済常任委員会記録

令和4年10月28日（金）

場所：鳥栖市議会 第3委員会室



# 目 次

令和 4 年10月28日（金） .....	5 頁
-----------------------	-----



## 令和4年10月臨時会日程

日次	月日	摘要
第1日	10月28日(金)	審査日程の決定 商工振興課審査 議案乙第32号  〔説明、質疑、総括、採決〕

## 10月臨時会付議事件

### 1 市長提出議案

[令和4年10月28日付託]

議案乙第32号令和4年度鳥栖市一般会計補正予算(第5号)

[可決]

[令和4年10月28日委員会議決]

令和4年10月28日（金）





## 1 出席委員氏名

委員長 久保山日出男

副委員長 西依義規

委員 小石弘和

委員 齊藤正治

委員 江副康成

委員 池田利幸

委員 野下泰弘

## 2 欠席委員氏名

なし

## 3 説明のため出席した者の職氏名

経済部長兼上下水道局長 宮原信

経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長 古沢修

商工振興課長補佐兼商工観光労政係長 樋本太郎

商工振興課企業立地係長兼

新産業集積エリア事業推進室新産業集積エリア事業推進係担当係長 香月啓介

## 4 出席した議会事務局職員の職氏名

議事調査係主事 赤司和広

## 5 日程

審査日程の決定

商工振興課審査

議案乙第32号令和4年度鳥栖市一般会計補正予算（第5号）

〔説明、質疑、総括、採決〕

6 傍聴者

なし

7 その他

なし

午前10時18分開会

久保山日出男委員長

建設経済常任委員会を開会いたします。

〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰

審査日程の決定

久保山日出男委員長

初めに、委員会の審査日程についてお諮りいたします。

あらかじめ正副委員長で協議しました日程案をお手元のほうにお配りしております。

商工振興課の関係でございますが、以上の日程でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

審査日程につきましては、以上のとおりと決しました。

〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰

商工振興課

議案乙第32号令和4年度鳥栖市一般会計補正予算（第5号）

久保山日出男委員長

それでは、付託議案審査に入ります。

これより、経済部商工振興課関係議案の審査を始めます。

議案乙第32号令和4年度鳥栖市一般会計補正予算（第5号）についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長

10月補正予算中、商工振興課関係分について御説明いたします。

委員会資料2ページをお願いいたします。

現在、事業を実施中でございますプレミアム付商品券事業第2弾について、追加の販売を行うものでございます。

なお、財源につきましては、国の新型コロナ対応臨時交付金を活用することとしております。  
委員会資料の3ページをお願いいたします。

現在行っております商品券事業第2弾のうち、電子商品券を追加発行いたします。

事業内容といたしましては、額面、販売価格、プレミアム率、1セットの内容及び購入対象者につきましては、変わりございません。

購入限度額は、1人につき16万円、プレミアム付で20万円、40セットまでといたしまして、年末年始に向けて12月1日からの販売を予定しておりますが、可能な限り前倒しをして、2週間程度前倒して実施できたらと検討を行っております。

スピード感を持って対応してまいりたいと考えております。

追加発行額は2億円、なお、第2弾の既存の発行額は6億2,500万円でございます、電子と紙の内訳は御覧のとおりとなっております。

委員会資料の4ページをお願いいたします。

現在行っております第2弾の販売状況といたしましては、電子商品券は10月1日から販売をいたしまして、1週間足らずで上限数に達しまして、既に完売をしております。

また、紙商品券につきましては、多数の事前申込みによりまして、抽せんの上、当選された方への販売を行っております。

今回、電子商品券2億円分の追加発行によりまして、発行総額は合わせまして8億2,500万円、総発行数は4万セットの追加で16万5,000セットとなります。

委員会資料の5ページをお願いいたします。

今回、追加発行を行います電子商品券2億円分に対します、見込みではございますけれども、事業費の内訳となっております。

以上、説明を終わります。

#### **久保山日出男委員長**

説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

#### **池田利幸委員**

1点だけ教えてください。

紙ベースが、今抽せんの上当選者をつていうことで、抽せんから外れる方、要は応募された総数で漏れる方って、どれくらい出てくるんですか。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長**

応募者数につきましては、応募総数が、6,063人の方から応募をいただきまして、うち、当選された方が5,545人ございました。

で、引換え販売を行いました、引換えに見えられなかった分がございまして、漏れた方か

ら繰上げ当選を行いまして、その繰上げ当選者が278人となっております、現在その方々の引換え中ということでございます。

で、差ですけど、残念ながら引上げ当選からも漏れておる方が240名となっております。以上です。

**池田利幸委員**

ありがとうございます。

追加発行する中で紙ベースが二百数十人漏れてるってことで、その方が、今回、電子で買えるサポートじゃないですけど、そういうのもぜひ考えていただきたいなと思いますので、よろしくをお願いします。

**久保山日出男委員長**

ほかに。

**西依義規委員**

5 ページに明細を書いてありますけど、販売費用というのは主にどういった経費ですか。

**古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長**

デジタル商品券の販売費用につきましては、取扱い店の換金手数料が主なものになっております。

**西依義規委員**

あとこの決算、その他のCM等は全部1者に対する契約ですか。

何者かこういう契約をするんですか。

**樋本太郎商工振興課長補佐兼商工観光労政係長**

お答えいたします。

まず、この業務自体を広告代理店のほうに、今、契約をさせていただいております。

そのこの業者のほうから、今予定しておるのは、テレビCM、それから新聞2紙への広告、それから全戸配布のチラシの印刷等、そういったものを予定をいたしております。

**西依義規委員**

それは第2弾で契約された広告代理店とされるということでもいいですか。

追加の再契約か何かですか。

どういう契約をするんですか。

**古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長**

あくまでも第2弾の追加でございますので、第2弾の業者と変更契約を行う予定としております。

以上でございます。

## 西依義規委員

妥当性っていうのがもうよく分からない。

例えば、テレビCM料が195万円が妥当かどうかっていうのがよく分かんないんですけど、相場というか、どういう計算でこの195万8,000円が出てくるんですか。

## 樋本太郎商工振興課長補佐兼商工観光労政係長

すみません、数字の明細は、今手元に持っておりませんが、あくまでも広告代理店のほうが佐賀県内のテレビ放送局会社と契約をする、1週間程度、1日四、五本のテレビCMを流していただくというふうなことを想定しております。

それから、新聞については、地元の、九州圏内を管轄している新聞社と、半5段という言い方をされてありますけれども、新聞紙のほうに販売前日にカラーで広告を載せさせていただき費用、それから、全戸配布のチラシにつきましては、市内の印刷業者様のほうに印刷をしていただくための費用を想定をさせていただいております。

すみません、具体的な金額については、手元にございませんで、あしからず御了承いただきたいと思っております。

## 西依義規委員

国からの国庫支出金で賄ってるんで、そこまで大事じゃないかもしれんですけど、お金はお金なんで、テレビCMでも例えば制作費が一本幾らでとかいうところまで、ぜひ次回からは教えてください。

もうこれでぼんと出して、はい異議なしでは、この審査がどこまで詰めたかどうかが、怪しくなってきましたんで、ぜひそこはよろしくお願いします。

あと、うちの会派の議員から、何で紙はないのかって、本当に多くの市民の方から言われたっておっしゃってましたんで、1回検討はしたのかどうか、もうはなから選択肢になかったのか。

で、先ほど池田議員のおっしゃったような、今まで紙で買えなかったが、アプリはこんなに手軽ですよと、で、お店のそういったフォローをどうやって……、やるのかやらないのか、そこまで含めていかがですか。

## 古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長

まず、紙商品券の発行については、併せて検討を行っております。

で、先ほども議場のほうで答弁を行いましたけれども、あまりにも期間がかかり過ぎて、年末年始の商戦に間に合わないということもございまして、今回のコロナの交付金の趣旨でございます、物価高騰対策についてスピーディーに対応することというようなこともございましたもんですから、電子商品券について発行を行うものでございます。

そこは御理解をいただきたいと思います。

そもそも発行総数も紙のほうが多うございましたものですから、その辺りも考慮しながら、決定、判断をさせていただいた次第でございます。

それとあと、フォローにつきましては、実際、商工振興課や会議所に高齢の方が見えられて、アプリのダウンロードから、あと、使用方法までお尋ねになられてあります。

そういったところについても、丁寧に説明をしてまいりたいと思いますし、高齢の方が見えられて、使うときどうされますかとかいうことを逆にお尋ねすると、第1弾のときに、自分もそうしたけど、もう、店員さんにお任せをしてやってもらってると。

非常にいいということを一—90歳近くとおっしゃられてありましたけど、そういった方もおられます。

ですので、そういったふうに簡単に扱えるっていうことを、より周知してまいりたいと思います。

以上でございます。

#### **西依義規委員**

私は前回のこの補正のときに、なぜ紙のほうを増やしたんですかってお聞きしたんですよ。

そうしたら、紙の需要が高くてっておっしゃって。

いや、せっかくアプリで方向性を決めたならアプリでいくべきじゃないかって、僕言ったと思うんで。

基本的には、その方向性は賛成なんですけど、ぜひ、そういったフォローもしてってください。

以上です。

#### **久保山日出男委員長**

ほかに。

#### **野下泰弘委員**

前回は2億5,000万円で、1人が8万円というところが限度だったんですよ。

それが1週間程度で売り切れてるんですよ。

今回、2億円というところで16万円が上限。

これだと前回よりも早く売り切れる可能性も出てくるし、そもそもの目的の物価高騰の生活者支援というところに当たるのかっていうのがすごく疑問に思うんですが、今回、なぜこの上限というのを上げられたんですか。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長**

口数を増やしたのは、御購入された方から口数について、もっと買いたいという声も頂きま

したし、あとは、最大の要因は、使用期間が短こうございます。

第2弾の開始は10月1日から始めて1月末までとしておりますけれども、1月末の使用期限は変えずに、予定ですが12月1日——前倒しをすることで検討しておりますけれどもですね。

そういったことで、使用期間が短こうございますので、その兼ね合いもありまして、口数を増やしております。

以上でございます。

#### **野下泰弘委員**

ちなみに、前回、電子版というところは予約なしだったんですけど、結局、買えなかったっていう声っていうのは、現状で届いておりますかね。

私は、もう、すぐ売り切れたので買えなかったというのは、かなり伺ってるんですけど。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長**

買えなかったという声も聞いております。

先ほども御説明したとおり、1週間で完売をしております。

ちなみに第1弾は、完売まで44日かかってます。

今回第2弾については、やっぱり使ってみてよかったということで、リピートされて使われた結果、これまでの苦情が出ていた毎回ログインをしなくちゃならないというのも改善も行ったことから、非常に使いやすいというお声を頂いております、そういったところで、電子商品券については、かなり好評を頂いているという状況で、認識をしております。

#### **野下泰弘委員**

ありがとうございます。

#### **齊藤正治委員**

国の補助金、これはどういう仕組みの中から……、何回か分けてから、ほぼ100%出てきよるのかどうかは知りませんが。

どういう状況で、これは自治体に下りてくるんですか。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長**

国のほうから直接内示がありまして、歳入のほうは総合政策課のほうで計上しているという状況でございます。

#### **齊藤正治委員**

金額は。

#### **古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長**

内示額の基準については、私どもは把握はしておりませんが、総額については、今回の交付金の内示については1億5,000万円ほどというふうに伺っております。



**齊藤正治委員**

これ、二次補正、三次補正、いろいろ出てきよるんですけども、小出しじゃなしに、もうちょっと長期的な視野の中で経済対策を打っていくってことをしていかないと、先ほど申し上げましたように、短期間しかないから紙媒体が使えないとか、そういうふうなできない理由がそこに出てくるわけですよ。

だから、そういうことじゃなしに、やっぱりもうちょっと——計画的なことができないようなシステムになってるんですかね。

**古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長**

計画的なことができないシステムかどうかは分かりませんが、今回、臨時議会で商品券をコロナ対応臨時交付金を財源としてやっておりますが、残の分については、12月補正で商工振興課ではなくて、ほかの対策で活用されると聞き及んでおります。

以上です。

**齊藤正治委員**

国の予算の前倒しとか、いろんな方法はあると思うんですけども、やっぱり鳥栖市がこれだけの計画を持ってから、これだけぜひお願いしたいということとはできないんですか。

**古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長**

そういう仕組みになってるとは聞いておりません。

**齊藤正治委員**

ぜひ、そういったことを言いながら——今の補正額では、うちのほうで不足ですということと言わないことには、国ってのは分らんわけよね。

あともう一つ、経済対策を、今ずっとマイナス成長じゃないですけども、所得がどんどんどんどん下がっていったらということから考えてみて、生活ができていところの……、恐らくもっともっと経済対策を打ってくるんだとは思いますが、

ただそれが遅きに失したってということにならないようなことを、やっぱりこの地元の……、要するに、例えば一般財源から繰り入れとって、後でそれをもらうとか、そういうこともできないわけじゃないんでしょう。

**古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長**

すいません、財源の話については分かりかねます。

**齊藤正治委員**

だから、財源の話について分かりかねますじゃでけんけんが、やっぱりそういう計画ができるのか、できないのか。

で、できないってすれば、国にどういうふうな要望をしていかなきゃいけないのかというこ

とも含めて、やっぱり商工政策としては打っていかないと、なかなか全体的な活性化にはならないということだと思うんですけどね。

**古沢修経済部次長兼商工振興課長兼新産業集積エリア事業推進室長**

計画的に活用できるように検討してまいります。

**齊藤正治委員**

ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

非常に大事な時期に入ってきて、今からもずっと、まだ続いていくんだと思うんですけど。

やっぱりそこら辺は、もうちょっと積極的に、足らない分は委員会なり議会なりで要望等々活動していけばいいわけで、まず、自分たちだけで考えんで、いろんなことを投げながらしていただければと思いますので、よろしくお願ひします。

**久保山日出男委員長**

よろしいですか。

今のことにお答えする分があれば。執行部はないかな。

ほかに。

**西依義規委員**

今回紙を刷らなかったということがあるじゃないですか。

だから、例えば、市民の声を、議案書をつくる前に、そういった御相談とかしていただいたりするのは、可能じゃなかったのかどうかっていうのは……、もうこれは議案が出る前ですよ。

今回はアプリで全部行こうと思ってますとか、いやこの紙が……、そういった市民の声を聞くって意味では、議会の声を聞けば市民の声だと思うんで、もし、こうやって迷うようなことがあったら、ぜひいろいろ委員会でも協議を投げさせていただきたいと思います。

以上です。

**久保山日出男委員長**

ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、商工振興課関係議案に対する質疑を終わります。

それでは、総括のほうに進めさせてもらってよかですか。すぐ始めていいかという確認です。

いいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰〰

## 総 括

### 久保山日出男委員長

では、これより総括を行います。

議案に対する質疑は終了しておりますが、総括的に御意見、御要望があれば御発言をお願いいたします。

### 江副康成委員

今回のプレミアム付商品券の発行、第2弾の取組、非常に歓迎といたしますか、よかったなど思っているところがございます。

それで、今回、物価高騰対策とかそういったところの、あるいは地域経済とかいろいろ、回復させるとか目的があるんでしょうけれども、そもそもは新型コロナ感染症の影響で地域経済が止まってしまったと、特にお金を渡して買うとか、そういったところも非常に配慮しなくちゃいけない。

例えば、店舗でも距離を取って、あるいはガードして、そういったところで一つの方策として、今後こういった、タッチしない非接触型の販売というところが、やっぱり皆さんに浸透しなくちゃいけないなというようなことから始まったものだと思います。

そういったことからして、さっき西依委員のほうからも、その方向性というやつをもう一回確認してくださいという話、非常に私も共感するところがございます。

そうした場合に、今後、やっぱり地域通貨としてこれが発展していく、一つの措置がもうできてしまったのかなあと思っています。

また、答弁の中で90歳のおばあちゃんから、使えるねというような感想も頂いたということですね。

ぜひ、そういったところの発展まで目指していただきたいなど。

例えば、今、うらら健康マイレージという形でポイントをくれると、500ポイントか何か知らんけど。

例えば、こういったところのアプリを使って、使えるようなポイントという形にすれば、それが地域の通貨として潤うと。

あるいは、今ミニバスとか、交通弱者の対策という形をやられてますけれども、そういったところのバス代だとかタクシー代だとかをあらかじめ市のほうから振り込んで、あるいは店舗をつくって、そういった形で払うということができれば、また——マイナポイントのマイナンバーカードの関係もありますけど、一つのツールとして確立されてるこれを、今やられてるところを一つの基盤にして、幅広く、ほかの部等の施策に合わせて使えるような地域通貨に、ぜ

ひ発展させていただきたいなという希望がございます。

よろしく願いいたします。

**久保山日出男委員長**

ほかに。

**西依義規委員**

新型コロナの影響で、やっぱり、鳥栖市、もちろん経済的に影響を受けている事業者がまだまだあるんですよ。

それはコロナの影響というよりも変な自粛ムードというか、そういったところがまだまだ取り除けてないんで、ぜひ商工振興課という名前のついた課が積極的に、できたら鳥栖市役所の皆さんとかですよ。

やっぱり、まちの経済を潤すような方向で、これを機に、年末はもう鳥栖市のまちがにぎわうような形で、ぜひ市役所の先頭を切って、経済回復に御尽力いただければと思います。

以上です。

**久保山日出男委員長**

ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、総括を終わります。



## 採 決

**久保山日出男委員長**

これより採決を行います。



### 議案乙第32号令和4年度鳥栖市一般会計補正予算（第5号）

**久保山日出男委員長**

議案乙第32号令和4年度鳥栖市一般会計補正予算（第5号）についてお諮りいたします。

本案中、建設経済常任委員会に付託されました関係分につきましては、原案のとおり可決す



鳥栖市議会委員会条例第29条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会建設経済常任委員長 久保山 日出男

